

NPO 法人松山子ども劇場 21 20周年記念例会 part I
第 116 回舞台鑑賞例会

火よう日のごちそうはひきがえる

〈まとめ集〉

人形劇団京芸



★みんなの描いた「火よう日のごちそうはひきがえる」

日時：2022年5月14日（土）

開演：18：00～19：05

会場：愛媛県男女共同参画センター

参加者 101名(会員 50名 招待者 2名 一般 49名)

会員参加率 56.1%



【みんなの感想】

★おもしろかったです (5才)

★とってもたのしかったです❤️でもちょっとこわかったです。(6才)

★かようびのごちそうはひきがえるのげきはおもしろかったから、またみたいです(6才)

★すごくおもしろかった。みみずくがとんでるのがすごかった。(6才)

★ネズミの弟がいっぱいいたのでびっくりしました❤️ (8才)

★ジョウジとウォートンが二人でお茶を飲んでいておいしいと言っていたからのものでみたくなりました。(9才)

★声の出し方がうまくてとてもおもしろかったです。また、見たいです。(10才)

★ジョージ(ミミズク)のはく力がすごくてびっくりしました。ゴートン(ヒキガエル)はジョージにつかまってどうなるかとはらはらドキドキしたけど最後は2人ともなかよくなれてよかったです。それとねずみの弟たち数がたくさんいておどろきました。(10才)



★息子と初めて見に行きました！！とても感動しました。息子もおもしろがっていて連れて行ってよかったと思いました。ミミズクとカエルの関係にぐっときました。(大人)

★坂下さんの声がしぶかったです。スキーをすべるシーンはスピード感がたっぷりでした！(大人)

★久しぶりの京芸さんの人形劇を楽しみました。ウォートンってやさしいなあ～！ジョージの心を溶かし、友だちになれるなんて、すばらしい！見習いたい！人形がいきいき動いていきているようでした。(大人)

★いつもより暗い会場にこわがる子ども達もいましたが、舞台に集中できました。BGMのチェロの独奏は最初物足りないかと思いましたが、作品の世界観や役者さんの演技がきわ立って感じられてので考えて構成されているなど改めて思いました。(大人)

★小学生の孫と観劇させていただきました。孫が家に帰って母親に楽しく様子や粗筋を話していたので連れて行って良かったと思いました。多分、劇団側の希望でステージを使用せず客席側で演技されたのは小さな子どもたちに配慮されたのだろうと思いましたがセリフが響きすぎて一部聞こえにくい点が有ったのは少し残念でした。今後も頑張ってください。ありがとうございました。(大人)

★火よう日のごちそうはひきがえる ずっと前に子ども劇場で出会ったときはドキドキワクワク。2度目はじんわり胸にしみました。なにはなくてもお茶、どんな「敵」にもまずはお茶。心を溶かす魔法はきっとだれでも持てると信じ、平和を祈りました。(大人)

★『火曜日のごちそうはひきがえる』とても楽しめた作品でした。坂下さんの声音がミミズクにぴったりで、音もなく舞台右手に止まるジョージが不気味さをもしていました。小さな人形で場面が切り替えて遠景に移り、そこでのネズミの集団も愛らしいキャラクターでした。最後、ウォートンがジョージを連れてやって来ておばさんはさぞかしびっくりしただろう、でもその後3人でお茶会かな？と想像するとクスッと笑えます。(大人)

★2歳息子は「ふくろうさん(ミミズクのこと)はおうちに帰ったん？」と、その後どうなったのかが気になったのか、ふとした時に思い出しては聞いてきました。ミミズクが飛ぶ様子をバツバツと手を動かしたり、カエルのウォートンが考え事をして目をパチパチしているところをウィンクしようとしたり、思い出しては表現していて、楽しめたんだなと思いました。4歳息子はミミズクがロープを投げ捨ててしまったのは何でか？と気になっていたようで、帰りの車内で何度も聞いてきました。ウォートンとジョージ、お茶を飲んで仲良くなったのにケンカしちゃって...と、嵐のシーンと重なり、ドキドキしたのかなと思います。

原作は息子たちには字が多く、なかなか読み聞かせても最後までたどりつかない...のですが、所々にある挿絵で舞台を思い出し、こうだった～と今でも楽しんでいます。もう少し大きくなったらまた物語を楽しみたいなと思いました。ウォートンは捕まって食べられてしまうのか！？というハラハラドキドキの5日間がハッピーエンドに終わり幸せな気持ちになりました♥あと、ジョージの坂下さんのお声がステキすぎました！（大人）

★京芸さんの迫力のある演技に泣き出す子どももいました。（私の孫も泣いてました）
ミミズクの声と目が怖かったと、話してくれました。
一緒に観れて、思い出に残る例会になりました。



【当番ブロックより】

道後ひがしブロック のつぶやき

★娘は一人で挨拶することにとっても緊張していました。でも終わった後は、緊張したけど、して良かった！「それでは、京芸さんよろしく申し上げます！」のセリフをもう少し大きな声で言えば良かったかなーと自分なりに振り返りもしていました。

★プレゼント渡しと、お片付けはお手伝いでき、楽しかったようです。プレゼントも、例会にだいぶん慣れてきた為か、緊張することなくできたようです。お片付けのお手伝いもさせていただきましたが、舞台の裏側や、人形などを間近に見ることができて、喜んでおりました。あれだけの舞台装置を一台の車に積み込む手際の良さも、興味深く観察していたようです。またこどもスタッフとしても、お手伝いさせていただきます。

★チケットの係とプレゼントを渡す係をさせていただきました。初めての係でどちらもとても楽しかったそうです。プレゼントを渡すときはちょっとドキドキしたけど、渡せてよかったそうです。たくさんの人に見ている前で何かするという経験はなかなかできないので、良い経験になりました。

★4歳の息子はドキドキする…と言って挨拶係は引き受けられませんでした。お姉さん達と一緒にプレゼント係をしました。例会前日に私がプレゼント用の袋に絵を描いていると、息子も作る！と言い出し、紙を切ったり貼ったり…封筒のような物を作り、大きなハートの絵を描いて、できた！と。中にはケーキの絵を入れてました。そして、これを(劇団の人に)渡す！と張り切っていました。観劇中も手元に置いてて、プレゼントを渡す時に一緒に持って行きました！

★例会当番として、それぞれが自分の出来ることをして例会を迎えることが出来たと思います。

★子どもスタッフと一緒にロビーに折り紙のカエルやご馳走様の絵を飾り、来場者を迎えることができました。

例会当番をしたことでブロックの仲間とのつながりができました。子どもたちは新しいことに挑戦し、それぞれ力を出せたことが何よりもよかったと思いました。



食べる・食べられる関係が友だちに

人形劇団京芸で10年以上のロングランを続けている『火よう日のごちそうはひきかえる』は、松山子ども劇場でも2007年に上演し、会員歴の長い人にとっては二度目の舞台でした。法人化20年を迎えた今年、20周年記念例会として、長年子ども劇場に関わってる人も、新しい人・初めての人にも楽しんでもらえる素敵な作品でした。

人形劇はケコミと呼ばれる舞台の中で繰り広げられますが、この限られたスペースがひきかえるの家の中として始まり、雪山の中になったり、木の中のミミズクの家になったりと様変わり。舞台装置の使い方も見事で、ひきかえるのウォートンがスキーで雪山をかける様子は人形を動かす人だけでなく、岩や山を動かす人と息ピッタリな動きで、スピード感に迫力がありました。会場の照明は暗くて、特に嵐の中で雷が鳴り響く場面では怖い！と感じる暗さでしたが、夜の場面ではロウソクの灯が優しく灯り、周りが暗いからこそ2人の会話に焦点が当たり印象に残りました。

ミミズクのジョージは役者が2人がかりで動かし、大きな羽をバサッバサッという効果音に合わせて羽ばたかせる様子は本物さながら。羽を指のように曲げてティーカップを持ち、口元に運んでお茶を飲む姿は、人形の意志で動いているかのような自然な動きでした。

たくみな人形使いにスーッと物語に引き込まれて1時間。ウォートンとジョージのやり取りに、初めはウォートンが無事に逃げられますようにと客観的に応援していた気持ちも、ウォートンがジョージの心変わりを期待したり、逃げていたのにジョージを助けるか葛藤したり、勇気を出してキツネに立ち向かって行く時には、自分の気持ちもウォートンと一緒にハラハラ・ドキドキしていました。

食べる・食べられる関係の2人が友達になるなんて、初めの出会いからは誰も想像できなかったことです。どんな状況になっても生きることを諦めないウォートンのたくましさ、明るさ、そして相手を思いやる気持ち、優しさ、勇気、…。それに触れて、ジョージの心の変化していくのを皆感じたと思います。2人が友達になった時、私たちの心も温かいものに包まれていて、幸せな気持ちで、ジョージに乗ったウォートンを見送りました。

例会子どもスタッフは、当番ブロックの子どもも含め8人の参加がありました。みんなのごちそうを展示するコーナーを飾り付けたり、プレゼント係、会場の片付けなど、できることに取り組みました。

アフタートーク まとめ

- ★日時：5月21日（土）10：00～12：00
- ★場所：コムズ（松山市男女共同参画推進センター）
和室・会議室
- ★参加者：大人7人、子ども4人



今回も大人と子どもで部屋を分かれて行いました。

大人の部では新任理事で舞台鑑賞事業部担当のIさんが司会進行。例会の感想を共有し、観劇していない人もよく分かったと、舞台を振り返ることができました。また20周年を機に復活させた『さくらんぼチケット』についてや、会員になったいきさつを聞くなど、多彩な話に盛り上がりました。また、当番ブロックと一緒に取り組むことと、子どもスタッフであることを、どう共同していくのかという意見も出ました。

子どもの部は、参加人数が少なかったものの、例会場で展示したみんなの“ごちそう”を見て、自分のごちそうを紹介したり、自分にとってごちそうとはどんな食事か？ どういう時がごちそうか？などと話して例会を振り返ることができました。

